



スーパー見学

12日（水）にプロジェクト学習の一環として、スーパーマーケットへ見学に行きました。今回は5つのグループに分かれて、カネスエ、イオン、ロピア、成城石井、コストコをそれぞれ見学しました。

前回のバローの見学を基に、それぞれのスーパーマーケットの強みや特徴を調べてから行ったので、インタビューの内容もとても質が高かったです。

スーパーの方からも帰り際に、「とてもするどい質問が多くて驚きました」と言ってもらえました。多くの小学校の見学を引き受けている中でのこのお言葉だったので、私も鼻が高くなりました。

5つのスーパーを比較しながら調べていたからこそその質問もありました、私もとてもおもしろかったです。

例えば、カネスエさんは、徹底的にコストカットをすることで商品の値下げに努めています。BGMをなくす、外部へのチラシの配布はしない、刺身にツマは入れない、トレイはシンプルなもののみにするといった方法でコストカットを図るそうです。

それを知った子が、イオンの鮮魚コーナーで、青く爽やかなトレイと白いシンプルなトレイがあることに気付き、「どうして二種類あるんですか？」と聞きました。

すると、生魚と解凍魚、天然ブリと養殖ブリなど、品質や価格の違いがお客さんに分かりやすいように分けていると答えてもらいました。私も知らない工夫だったのでとてもおもしろかったです。



また、私はイオンに引率に行ったのですが、商品の種類の多さに注目してみると、とてもおもしろかったです。なんとミニトマトだけで12種類もありました。

肉の近くに鍋のスープが置いてあったり、野菜の近くにドレッシングがあったりという、関連販売もそこかしこにありました。

お店の人の働く工夫を探すというのは、社会科的でとても面白いです。ぜひお子様とスーパーにお買い物をした際は、そのスーパーの販売の工夫と一緒に探してみてください。